

平成29年度大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○長崎大学、福島県立医科大学	タイプ・国名	A・ロシア
事 業 名	日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業		
海外の相手大学	[ロシア] 連邦国立高等教育機関「I.I.メーチニコフ名称国立北西医科大学」、ロシア連邦保健省「内分泌研究センター」、連邦国立機関ロシア連邦保健省「国立医学研究放射線センター」 支部・A.F.ツィブ名称医学放射線研究センター [ベラルーシ] 教育機関「国立ベラルーシ医科大学」、教育機関「国立ゴメリ医科大学」		

〔評価コメント〕

本事業計画は、日露両国の重要課題である災害・被ばく医療科学分野に着目し、当該分野の国際化に向け、これまでの実績に加え日露両国の更なる連携により、災害・被ばく医療科学分野の専門家育成に取り組もうとする意欲的な計画である。また、事業展開にあたっては、長崎大学と福島県立医科大学という、放射線災害の経験を有する県に立地する両大学が「災害・被ばく医療医科学共同専攻（修士課程）」という共同大学院を設置している強みを活かし、同様に放射線災害の経験を有するロシアの相手大学と連携し専門性の高い多様なプログラムを双方向で実施する協働教育を目指した計画となっており、高く評価できる。

一方で、日本人学生に対するロシアでのサポート体制が十分とは言えず、実施に際しては更なる体制の強化が求められる。カリキュラムの面では、教育プログラムとしてロシアの相手大学がどのような役割を担うのか、また、日本側でも福島県立医科大学の位置付けを明確にすることが必要である。短期、長期の交流プログラムの内容、単位互換やダブル・ディグリーの取組、学習目標の設定など、質の保証についての更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。